

類別：機械器具(78) 家庭用電気治療器
管理医療機器 一般的名称：温熱・電気マッサージ組合せ家庭用医療機器(JMDNコード:71006000)
折りたたみ式全身治療ベッドⅡ

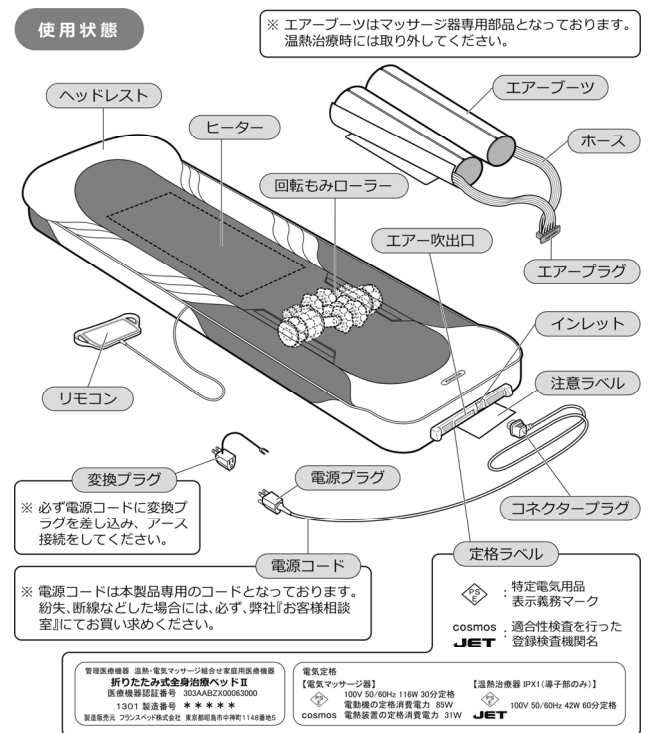
【警告】

- 医師からマッサージを禁じられている人は使用しない。
- 幼児や子供、身体の自由が利かない人、自分で意思表示や操作ができない人など、補助が必要な人には使用させない。
- 子供に本体の上で遊ばせたり、乗らせたりしない。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V、50/60Hz以外の電源では使用しない。
- 電源コードや電源プラグ、コネクタープラグが傷んでいたり、熱くなったりした場合やコンセントの差し込みが緩いときは使用しない。
- 電源コードなどのコード類を傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、熱器具に近づけて使用したりしない。
- 分解や修理、改造はしない。また、勝手にネジを外したり、ナイロンバンドを切断したりしない。
- 使用中に身体に異常を感じたときや使用しても効果が現れない場合は、直ちに使用を中止し、医師に相談する。
- ヒーターを使用する場合には、低温やけどの恐れがあるため、次の注意事項を必ず守って使用する。
 - 睡眠薬などを服用した人やめいいてい(酩酊)状態の人は使用しない。
 - 熱に敏感でない人が使用する場合は十分注意し、付添いなしでは使用させない。
 - 必ず、パッドまたは毛布などを敷いて使用する。
 - 熱すぎると感じたときは、直ちにヒーターを切る。
 - 10分以上の連続使用はしない。
- 使用前に本体の表地が破れていないか確認する。また、その他の部分の表地にも破れがないか確認する。破れがある場合は直ちに使用を中止し、事故防止のためすぐに電源プラグを抜く。
- 足側のファスナーは開けない。また、ファスナーが開いた状態では絶対に使用しない。

【禁忌・禁止】

- 次の人は必ず医師と相談のうえ使用する。
 - 医療機関で治療中の人や特に身体に異常を感じている人
 - ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人
 - 悪性しゅよう(腫瘍)のある人
 - 心臓に障害のある人
 - 温度感覚喪失が認められる人
 - 低温やけどをしたことのある人
 - 生理中や妊娠初期の不安定期または出産直後の人
 - 糖尿病などによる高度な末しょう(梢)循環障害からくる知覚障害のある人
 - 皮膚に創傷や異常のある人
 - 安静を必要とする人
 - 体温38℃以上(有熱期)の人
 - 骨粗しょう(鬆)症の人、せきつい(脊椎)の骨折、ねんざ(捻挫)、肉離れなど、急性[とう(疼)痛性]疾患の人
 - 背骨に異常のある人や曲がっている人
 - けんしょう(腱鞘)炎の人
 - 頭痛の人
 - 認知症の症状のある人
 - 血圧に異常のある人
 - かつて治療を受けたところまたは疾患部へ使用する人
 - 医師により入浴や運動を止められている人
 - やけど、けが、お灸、手術後で完治していない人

取扱説明書を必ずご参照ください。

【形状・構造及び原理等】**(1) 外観図****2つ折り状態**

※ 紛失しないようご注意ください。

固定ベルト

(2) リモコン**リモコン****もみローラー治療**

「全身」「断続リリース」「部分」「ポイント」の4種類の治療動作が選択できます。

強・弱

「回転もみ」「もみ」を選択しているとき、治療の強さが選択できます。

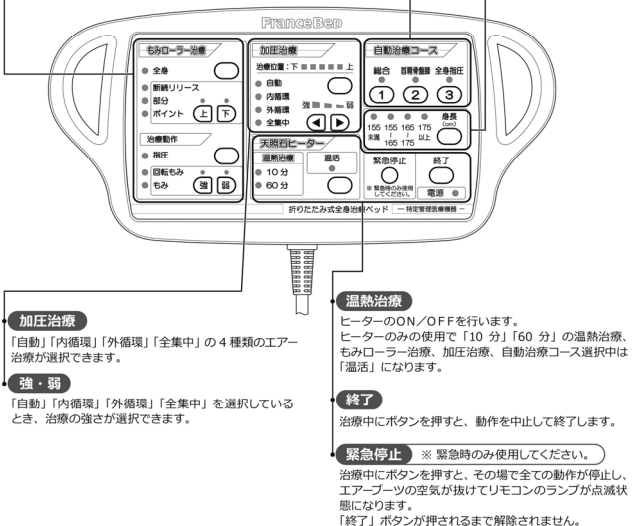
治療動作

「指圧」「回転もみ」「もみ」の3種類のもみローラー治療が選択できます。

もみから指圧への切り換え時は、停止動作を行うため、約4秒間ボタン操作を受け付けません。

上・下

「断続リリース」「部分」「ポイント」を選択しているとき、お好みの位置にローラーを移動できます。



(3) 本体サイズ

寸 法：幅 71 × 長さ 208 × 高さ 9 (cm)
(モーター部 16 (cm))
重 量：23 (Kg)

(4) 電氣的定格

- 1) 定 格 電 圧 AC 100 (V)、50/60 (Hz)
- 2) 定 格 時 間 電気マッサージ器時：30 (分)
温熱治療器時：60 (分)
- 3) 定格消費電力 電気マッサージ器：116 (W)
[電動機 85 (W)、電熱装置 31 (W)]
温 熱 治 療 器：42 (W)
- 4) 感電に対する保護のクラス クラス 0 I 機器
- 5) 電極の有害な水の侵入に対する等級：IPX1

(5) 動作原理

回転もみローラーユニットの動作原理として、本器の足側には駆動部があり、内部には、ベルト巻取用の駆動モーター、プリント基板、リミットスイッチなどの電気部品と、左右に駆動用の巻取ギヤなどがある。この巻取ギヤの先には左右に樹脂製のガイドレールが1本ずつ取り付けられ、溝の中にステンレス製のベルトが張られている。ステンレスベルトは、足元側にある2個1組の巻取りボビンと、頭側にあるベルトブリーに掛けられ、ベルトを駆動モーターで巻き取ることで、巻取ギヤにベルトが巻かれ、ベルトに固定されている回転もみローラーユニットは、ガイドレールに沿いながら本器の長手方向に移動し、マッサージを行う。このときの駆動モーターの回転数により、施療部の移動速さが決定される。

回転もみローラーユニットのドライブユニット内にある回転もみ用モーターには、駆動部の前側にあるSW電源からベルトを経由して電力が供給される構造となっている。もみローラー動作には、「指圧」、「回転もみ」、「もみ」の3モードがある。「指圧」モードとは指の形状を模したもみ玉がもみ及びもみ部の両サイドに配置されている回転ローラーのドラムが動作しない状態で、人体の圧力を受け、施療部を移動させることで指圧をされているかのようなマッサージ感覚を得られるモードである。「回転もみ」モードは、もみ及び回転ローラーのドラムが動作するモードであり、「もみ」モードは、もみ部だけが動作し、回転ローラーのドラムは動作しないモードである。マッサージ効果を得るためのローラーもみ回数と円柱側面刺激機能の自回転数は、ベルトから供給される電力により得られるモーターの回転数とギヤ比により決定される。

エアーマッサージユニット(エアースーツ)は、脛脛を中心とした脚部左右を、横方向に5分割されたエアータグセルで包み、エアータグセルと給排気切替用の電磁弁を使用して、各エアータグセルに順次給排気を行い、マッサージ感を実現する。この時のエアータグセルは、プリント基板上に実装された圧力センサによって制御され、圧迫圧力が決定される。

ヒーターは、本器底部に配置されていて背中から腰を温める。本器のヒーターでの温熱効果について、温熱治療器として使用する場合、ローラーは停止状態であり、ヒーターへの通電率が100%となる。これに対しローラーが作動状態のときには、加温状態となり、ヒーターへの通電率は75%となる。この通電率の違いとローラーが作動することによるヒーターと人体の接触度合いの変化により表面温度が温熱治療状態と加温状態では異なり、マッサージ効果と温熱効果が同時出力されない構造となっている。加温状態は、付帯機能に該当しない機能であり、冬場等寒いときに使用する機能で、治療器としての温熱効果を持つものではない。また、リモコンに天照石ヒーターと記載があるが、ヒーター表面に天照石の粉末を接着塗布したもので、天照石自体は効能効果があるものではない。

本器のモーター、ヒーター及びリモコンなどの制御は全てマイクロコンピュータにより行われる。操作はリモコンにより行い、発光ダイオードの点滅とブザー音により操作の確認ができる。

【使用目的又は効果】

温熱治療器として電熱による温熱効果、電気マッサージとしてあんま、マッサージの代用。一般家庭で使用する。

【使用方法】

使用前に取扱説明書をよく読み、正しく使用する。

(1) 使用時間・使用頻度

使用時間は1回を10分(温熱治療の場合は60分)までとし、1日に1～2回で体調に合わせて使用する。

(2) 操作方法の詳細については取扱説明書を参照する。

- 1) 固定ベルトを外して、異物のない水平な場所に本体を広げる。コネクタープラグをインレットに差し込み、電源プラグに変換プラグを接続してからコンセントに差し込む。ローラーが足元にならない場合は自動的に足元へ移動した後、電源待機状態となる。使用前にローラーが通る場所などの表地が破れていないこと、正常に動作することを確認する。
- 2) エアースーツを本体に取り付ける。エアースーツ先端のエアータグセルをエアータグセルの形状と合わせ、根元まで差し込む。エアータグセルの固定つまみを上方向に回し、本体とネジ止めする。脚部にエアースーツを着用する。頭の位置をヘッドレストの上から約8cmほどあげ、真ん中に身体を抜いて、ゆっくりと仰向けに寝る。
- 3) エアースーツの中に膝上からつま先までを差し込む。
- 4) ヒーターを使用する場合には必ず、また、使い始めやローラーのあたりが強すぎると感じたときにも、パッドや毛布などを敷いて使用する。頭の位置をヘッドレストの上から約8cmほどあげ、真ん中に身体を抜いてゆったりとした気分で寝る。エアースーツを使用しないときは、エアースーツ同士を固定している面ファスナーを外し、両脇におく。
- 5) リモコンの各ボタンを操作して好みの治療を行う。ボタンは必ず寝姿勢になってから操作する。自動コースから個別の治療を選択する場合は、治療動作ボタンを押してから好みの治療を選択する。
- 6) 10分(温熱治療によっては60分)が経過すると、自動的に終了動作をはじめ、待機状態に戻る。途中で治療を止めたい場合には、「終了」ボタンを押すと終了動作をはじめ、待機状態に戻る。
- 7) 1日1～2回、1回10分以内(温熱治療の場合は60分)の範囲で体調に合わせて使用する。
- 8) 使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いて保管する。収納するときは電源コードをはずし、折りたたんでから固定ベルトで固定する。折りたたむと内部の安全スイッチが働くので、電源コードを接続したまま誤ってリモコンを操作してもローラーやヒーターが作動することはない。

【使用上の注意】

(1) 使用条件及び環境上の注意事項

- 1) 他の治療器と同時に使用しない。
- 2) 治療目的以外には使用しない。
- 3) 飲酒後や食後30分以内の人は使用しない。
- 4) 素肌やぬれた身体では使用しない。
- 5) 2人以上での同時使用、座った状態、立った状態、うつ伏せ状態での使用などはしない。
- 6) 逆向きでは使用しない。
- 7) マットレスなどの柔らかいものの上では使用しない。
- 8) 本体を折り曲げたり、角度をつけたりした状態で使用しない。
- 9) ストープの近くや電気毛布、ホットカーペットなどの暖房器具と一緒に使用しない。
- 10) 浴室など湿度の高い場所では使用しない。
- 11) プラグ類にピンやゴミ、水分などを付着させない。
- 12) エアースーツに針やピンなど先端のとがったものを乗せない。また、刃物などで傷をつけない。
- 13) 突起物や障害物のない水平な場所で使用する。

(2) 使用前の注意事項

- 1) 電源プラグやコネクタープラグは、容易に離脱しないよう確実に最後まで差し込む。
- 2) アースを確実に取り付ける。
- 3) 広げるときには衝撃を与えない。
- 4) 使用前にリモコンのボタンやタイマーなどが正常に作動することを確認する。また、しばらく使用していなかったあとに使用するときは、正常かつ安全に作動することを確認する。
- 5) エアータグセルはななめに差し込まない。

(3) 使用中の注意事項

- 1) 使用中は眠らない。
- 2) 本体やリモコンを水などでぬらさない。
- 3) リモコンを落としたり、上に乗ったり、引っ張ったり、乱暴に扱わない。
- 4) 施療部位に装身具(アクセサリ)をつけて使用しない。
- 5) エアースーツを頭部や腕など脚部以外の上半身には使用しない。

- 6) 無理にホースを引っ張ったり、ホースを持ってエアースーツを本体から取り外したりしない。特に、エアースーツの根元でホースを引っ張ったり、押したりしない。
- 7) ウェイトを身体や脚の下などに置いてローラーを作動させない。また、人が使用していない状態で、ウェイトを置いたままローラーを作動させない。
- 8) 動作中や終了時にローラーが足元へ移動しているときには、電源プラグやコネクタープラグを抜かない。
- 9) 雷、地震、停電の場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く。
- 10) 動かない場合や異常のある場合には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く。
- 11) 『緊急停止』ボタンを押して、ローラー動作を途中で停止させた場合は、必ず『終了』ボタンを押してローラーを足元の終点位置まで戻す。
- 12) 使い始めは弱い刺激でマッサージする。また、マッサージが強すぎると感じたときは、パッドまたは毛布などを敷いて使用する。
- 13) エアースーツのファスナーは開いた状態で使用しない。
- 14) 付属品や取扱説明書に記載されている以外のものを用いて使用しない。

(4) 使用後および保管の注意事項

- 1) 本体を落としたり、衝撃を加えたり、乱暴な扱いはしない。
- 2) 必ず内側に折りたたみ、外側へは折らない。
- 3) ローラーが折り曲げ部付近にあるときは、折りたたまない。
- 4) 折りたたんだ状態で人が乗ったり、重いものを載せたりしない。
- 5) コード類はねじれをほどこいて保管する。
- 6) 本体付属品などは、次の使用に支障がないように清浄にし、湿気の少ないところに保管する。
- 7) 次の場所では保管しない。
 - ・暖房器具などの近くで直接高温になる場所
 - ・直射日光の長時間当たる場所
 - ・振動や衝撃の加わる場所
 - ・湿度の高い場所
- 8) 縦置き状態で保管しない。
- 9) 上に重い物を載せた状態で保管しない。
- 10) 汚れを拭き取るのに、シンナー、ベンジン、アルコール、その他の溶剤や磨き粉などは絶対に使用しない。
- 11) 電源プラグやコネクタープラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜くなどして、プラグとコードの接続部に無理な力をかけない。
- 12) ぬれた手で電源プラグやコネクタープラグを抜き差ししたり、リモコンを操作したりしない。
- 13) 使用していないときは電源プラグをコンセントから抜く。
- 14) エアースーツを本体から外すときには、必ずエアープラグを持って抜く。
- 15) 片方の固定ベルトだけを持って持ち運ばない。
- 16) お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。
- 17) 本製品を廃棄する場合は地域の条例に基づいて廃棄処理する。

【保管方法及び有効期間等】

(1) 耐用期間

1000時間【自己認証(当社データによる)】

※ 但し、指定された使用環境において、標準的な頻度で使用された場合の時間であり、使用状況によっては異なる場合がある。

【取扱い上の注意】

- (1) 安全のため、使用前に取扱説明書をよく読み、正しく使用する。

【保守・点検に係る事項】

- (1) 常に使用前、使用後の点検を行い、機器に異常がある場合には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、『販売店』へ連絡する。
- (2) お手入れの方法
 - 1) 本体の普段のお手入れは、ほこりを払い落とし、乾いた布で汚れを拭き取る。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液に布を浸し、固く絞ってから軽くたたくように汚れを落とす。
 - 2) リモコンは、乾いた布で汚れを拭き取る。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者名：

フランスベッド株式会社

住 所：東京都昭島市中神町 1 1 4 8 番地 5

電 話：0 4 2 - 5 4 3 - 3 1 1 1

製造業者名：

フランスベッド株式会社 東京工場

住 所：東京都昭島市中神町 1 1 4 8

電 話：0 4 2 - 5 4 3 - 3 1 1 3

お問い合わせ先：

フランスベッド株式会社 お客様相談室

住 所：東京都昭島市中神町 1 1 4 8 番地 5

電 話：0 1 2 0 - 3 9 - 2 8 2 4

販売業者の連絡先

取扱説明書を必ずご参照ください。